

議会改革特別

本委員会は、本年の第2回臨時会で設置されて以来13回の委員会を開催し、議会改革の取組みについて議論を重ねて参りました。逼迫する市の財政健全化に向けた努力が進められている事などを考慮し

「市議会自らの財政的努力」の取組みとして、本年度の議員報酬について年間総支給額の10%削減を、委員会に於いて決定し、9月開催の第3回定例会で可決されました。

□議会情報の発信

住民参加をどう進めていくかという課題に対しては、先ず議会情報の開示と提供を積



市議会案内ポスター掲示

極的に勧め、議会への関心を高める事が重要であるとの見

解で意見が一致し具体的取組みとして①議会単独でのホームページの開設②FMラジオの活用③議会広報の充実④議会開催の告知ポスターの掲示⑤図書館の有効活用の5点に集約をいたしました。

□議会開催告知ポスターは12月議会(第4定)から実施

1点目のホームページの作成、2点目のFMラジオの活用については新年度実施に向け準備を進めて参ります。3点目の議会広報の充実については広報委員会において、より読みやすい紙面づくりを旨指して検討が進められております。4点目の議会開催の告知ポスターは、市内の公共施設や、一部民間施設にもご協力をいただき先に開催された12月議会から実施を致しました。5点目の図書館の有効活用についても更なる創意工夫を重ねて参ります。議会改革の取組みは緒についたばかりであり今後は更なる情報発信の努力と住民参加の具体的手法について、議論を進めて参ります。

都市事例調査報告

平成19年第3回定例会に於いて議決された道外事例調査は10月15日より19日の5日間の日程で実施されました。調査地は長崎県佐賀市(観光振興)熊本県天草市(合併後のまちづくり)佐賀県佐賀市(佐賀中部広域連合の取り組み)で本年は民主クラブから9名が参加致しました。

□観光のコンビニエンス構想

老岐市は「いきいきわくわく観光コンビニエンス構想」を立案し、歴史と自然、九州の都市圏と近接した島という地理条件を生かし、農業、水産業、地場企業はもとより全ての市民が心を一つにした観

光の島づくりを展開し、受入態勢の整備や、おもてなしの心の醸成、観光施設の充実、体験観光、スポーツイベントなど観光のコンビニエンス化を進めている。

□住民自治による地域づくり

天草市は平成18年3月、2市8町の合併で誕生した。行政規模の拡大により住民自治の確立が急務となり、旧市町村単位のまちづくり協議会、更に小学校区や、行政区単位に51の地区振興会を設置し、住民自治組織として活動している。行政と住民自治組織の役割を明確にし、自己決定、自己責任を基本とした地域づくりが進められている。住民自治組織による特産品の開発や販売などコミュニティビジ

ネスの取り組みも行われ、住民自治組織が切磋琢磨する好環境を生み出している。

□佐賀中部広域連合の取組み

平成9年、介護保険法の成立を受け、2市13町3村の構成で平成11年2月に広域連合を設立し、12年4月から介護保険事務を行なっている。実施にあたって県の協力が得られないなど様々な障害を乗り越え、現在では、広域連合の成功例として全国に紹介されるまでに至っている。また、設立時の18市町村は合併が進み現在は、4市1町の構成となっている。また、ふるさと市町村圏事務は4市、消防事務は3市が広域連合に参加している。

常任委員会の動き

●各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次の事務調査・都市事例調査を行います。

■事務調査

委員会名	調査番号	調査件名
総務文教委員会	調査第6号	財政状況について

■都市事例調査

委員会名	調査件名	調査地
議会運営委員会	議会運営と議会改革について	三重県伊賀市・鈴鹿市